

電磁式第3バルブキット不具合対処方法(販売店様用) 赤字部分(簡単チェック)

※電磁式第3バルブ部品表(配線図)とテスターを準備してください

令和2年12月22日作成

※ここでは図面⑩コネクタ(電磁バルブ側)を発光ダイオード部分と表記します

※電磁バルブが動作する場合はカチンと音がします

まず最初に

操作レバーノブのボタンスイッチを操作して電磁バルブ本体裏面の発光ダイオード(LED)が点灯するか確認してください

※黄色いスライドスイッチ付きの場合はON(通常は上)の状態にしてください

■ 発光ダイオード(LED)が点灯する

電磁バルブ本体の不具合→修理・交換

※電磁バルブ本体横(前方から見て右側の丸いくぼみ)の圧抜きを手動で操作(押す)すると動く場合があります(スプールの固着)※旧型は赤いボタン

※電磁バルブ本体のスプールの清掃(ゴミ噛み)※前方から見て左側のねじを外し中のスプールを抜いて清掃する

※発光ダイオード部分の接触不良(はずして接触部の清掃)※発光ダイオード(LED)が点灯していても接触不良はあります

※発光ダイオード部分1番と2番の電圧の確認(ショートに注意)

※発光ダイオード部分を外し、さらにその土台を外すと電磁バルブ本体内部のハーネスが断線している場合があります(修理不可能ASSY交換)



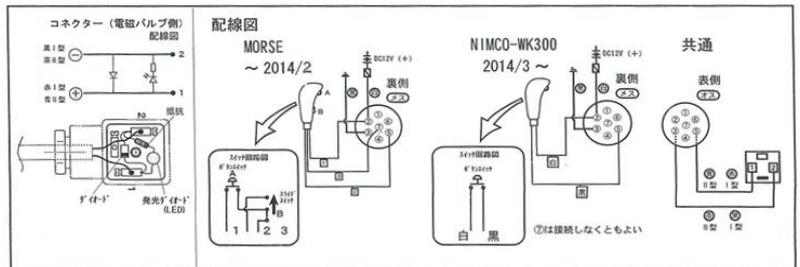
■ 発光ダイオード(LED)が点灯しない

電源ヒューズの確認

■ 切れている場合

ヒューズ交換(10A)

■ 切れていない場合



コネクタ(メス)をコネクタサポートからはずして導通チェックします※念のためにコネクタ(オス)は抜いてください

■ 導通・電圧チェック異常あり

2番 5番でボタンスイッチを押す→導通しない場合→ノブ側の断線・ボタンスイッチの不良
よくある故障箇所はレバー内部の断線・レバー下部から10cmくらいの操作時にたわむ部分の断線

2番 3番でバッテリーからの電源確認※ショートに注意
電圧がない場合はバッテリーからの断線

■ 導通・電圧チェック異常なし

バルブ用ハーネスASSY(パーツリスト②)の導通テストをしてください

コネクタ(オス)3番と発光ダイオード部2番・コネクタ(オス)5番と発光ダイオード部1番

■ 導通チェック異常あり

バルブ用ハーネスASSY(パーツリスト②)部分の不具合→断線・交換

■ 導通チェック異常なし

コネクタオスをコネクタメスに接続して導通テスト

コネクタメス3番と発光ダイオード部の2番・コネクタメス5番と発光ダイオード部の1番

■ 導通チェック異常あり

コネクタオスとコネクタメス接続部の接触不良(清掃)

■ 導通チェック異常なし

電磁バルブ本体の不具合→修理・交換

※電磁バルブ本体横(前方から見て右側の丸いくぼみ)の圧抜きを操作(押す)すると動く場合があります(スプールの固着)※旧型は赤いボタン

※電磁バルブ本体のスプールの清掃(ゴミ噛み)※前方から見て左側のねじを外し中のスプールを抜いて清掃する

※発光ダイオード部分の接触不良(はずして接触部の清掃)※発光ダイオード(LED)が点灯していても接触不良はあります

※発光ダイオード部分を外し、さらにその土台を外すと電磁バルブ本体内部のハーネスが断線している場合があります(修理不可能ASSY交換)



メスコネクタ



オスコネクタ



バルブ用ハーネスAssy